

研究・調査報告書

報告書番号	担当
423	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
Alcohol consumption and pancreatic cancer: a pooled analysis in the International Pancreatic Cancer Case-Control Consortium (PanC4). アルコール消費量と膵癌：膵癌ケースコントロール研究国際コンソーシアム (PanC4) におけるプール分析	
執筆者	
Lucenteforte E, La Vecchia C, Silverman D, Petersen GM, Bracci PM, Ji BT, Bosetti C, Li D, Gallinger S, Miller AB, Bueno-de-Mesquita HB, Talamini R, Polesel J, Ghadirian P, Baghurst PA, Zatonski W, Fontham E, Bamlet WR, Holly EA, Gao YT, Negri E, Hassan M, Cotterchio M, Su J, Maisonneuve P, Boffetta P, Duell EJ.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Ann Oncol. 2012 Feb;23(2):374-82.	
キーワード	
飲酒、症例対照研究、エタノール、膵癌、プール分析、危険要因	
要 旨	
背景： 多量飲酒と膵癌との関連が報告されている。しかし結論は明らかではない。	
方法： 膵癌とアルコール消費量との関連を検討するために、膵癌ケースコントロール研究国際コンソーシアムに参加している 10 件のケースコントロール研究をプールした分析 (ケース 5585 例とコントロール 11827 例) を実施した。研究ごとに共変量調整後のオッズ比を推定し、ランダム効果モデルを使用してそれらをプールすることにより全体のオッズ比を算出した。	
結果： 非飲酒および機会飲酒 (一日あたり 1 ドリンク未満) と比較して、軽度から中等度の飲酒 (1 日あたり 4 ドリンク以下) と膵癌リスクには関連は認められなかった。しかしながら、多量飲酒者 (1 日あたり ≥ 9 ドリンク以上) において有意なリスク上昇が観察された (オッズ比 = 1.6、95%信頼区間 1.2 から 2.2)。結果は、喫煙状態を考慮した分析でも、膵炎既往者や代理回答者を除いた分析においても、大きく変化しなかった。リスク推定値に、性・年齢・人種・研究の種類、および調査地域による顕著な違いはなかった。	
結論： 今回の共同プール分析は、大量のアルコール摂取と膵癌リスクとの正の関連についてのさらなる根拠となるであろう。	